

# 里山保全活用型ビジネス展開 のための参考事例見学会 にご参加ください！

学研高山第2工区のあり方を考える生駒市民の会



日時：8月25日(土) 集合は午前7時(生駒駅メイン改札口前)、解散は午後6時ごろ(同)

場所：大阪府能勢町「冒険の森 in のせ」

内容：自然共生型(非開発型)アウトドアパークの施設・事業手法を見学することで、第2工区における「里山保全活用型ビジネス」の展開手法を考えます。

参加費：2,000円(交通費に充当いたします。)

必需品：弁当・飲み物、雨具、歩きやすい服装・帽子

申込：はがきに参加者全員の住所・氏名・電話番号を書いて、8月23日(木) <必着>までに、山口昭夫(〒630-0135 生駒市南田原町1051-8 ☎090・7358・5464)まで

## <「里山保全活用型ビジネス」とは>

里山の地権者より土地を借用し、里山の地形は改変せずに、その地形を利用しその地形に応じて、里山の恵み(農林作物、遊び保養学び育ちの場、生物多様性、環境保全)を活用したビジネスをおこない、食の安全保障、緑豊かな環境、健康増進、心の安らぎ等を市民に提供し、地権者には収益を還元していく、社会課題解決型ビジネスのこと。

地権者被害(所有地を有効に用益・処分できないこと)の解決と里山の保全(自然破壊の防止)の両立を実現するもので、また、行政にとっても地域経済循環率の向上や税込と雇用の増大をもたらす歓迎すべきものであり、地権者・市民・行政の3者にとって喜ばしい、CSV(Creating Shared Value/共通価値の創造/三方よし)の事業手法である。

具体的には、冒険の森のような里山遊園事業、都市型農業経営事業、里山ガーデン事業、里山レストラン・里山カフェ事業、牧場事業、その他各種の里山活用事業(市民農園、里山学校、里山の生活・文化体験、山の幸の栽培と販売、芸術の森など)をビジネスとして展開。

## <「冒険の森 in のせ」のご紹介>

- ①かつて東洋一と言われた広さを持つ大阪府立総合野外活動センターの跡地(町有地)の放置森林を民間事業者がレジャー施設に活用。敷地面積は約8ヘクタール。
- ②人が楽しむために開発を行い、結果自然が無くなってしまいうハード重視の施設開発ではなく、ありのままの自然(山林の地形、樹木)を活用したソフト重視の施設設置・運営により収益を生み出し、その一部を、間伐等の森林整備の費用に充てることで、本来山が持っていた美しい自然・魅力を未来に残す仕組みを構築している。
- ③3種のアクティビティ(アスレチック)を楽しめる。
  - ☆国内最長級(517m)のジップライン(林間空中飛行)
  - ☆ツリートレッキング(林間空中歩行)
  - ☆ツリーイング(ツリークライミング/木登り)
- ④セグウェイに乗って森林散策も楽しめる。

発行者：吉波伸治 生駒市北大和3-2-7

☎0743-84-4355